

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成27年3月31日

計画の名称	緑あふれるまちづくり		
計画の期間	平成22年度～平成25年度（4年間）	交付対象	大津市
計画の目標	青い琵琶湖と緑の山並みに包まれた自然あふれるまち・大津の実現のため、琵琶湖と山並み、またその間に展開する都市公園を整備し、緑のネットワークを構築することで、後世に引き次ぐことのできる自然あふれるまちづくりを実現する。 また都市公園の防災機能の充実を図り、安心で安全なまちづくりに寄与する。		

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 大津市民一人当たり都市公園面積を9.0m2から9.6m2に増加 茶臼山公園広場整備を実施し、災害時、避難対象人口8,880人に対して全員分のスペースを確保する 		
----------------	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
	当初現況値 平成21年度末	中間目標値 平成24年度末	最終目標値 平成25年度末
① 大津市内で供用している公園等の市民一人当たりの面積	9.0 m2/人	9.4 m2/人	9.6 m2/人
② 茶臼山公園の災害避難者の収容率	91.4% (8120人)	100% (8880人)	100% (8880人)
全体事業費	合計 (A+B+C)	226.5	A 218.2 B 0.0 C 8.3
			効果促進事業費の割合 C / (A+B+C) 3.7%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施時期		
事後評価の実施体制	平成27年3月		
事業終了後、事業実施担当部において	公表の方法		
	大津市ホームページにて公開		

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業														
A1 道路事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25		
A-2	公園	一般	大津市	直接	大津市	吸収源対策公園緑地事業	田上公園ほか整備 0.4ha	大津市					31.2	
A-4	公園	一般	大津市	直接	大津市	緑化重点地区総合整備事業	近江神宮外苑公園整備 3.0ha	大津市					130.6	
A-5	公園	一般	大津市	直接	大津市	都市公園事業(茶臼山公園)	公園整備 0.2ha	大津市					56.4	
合計												218.2		

B 関連社会資本整備事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25		
合計														

C 効果促進事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25		
C-2	公園	一般	大津市	直接	大津市	柳が崎湖畔公園隣接地花壇及び公園案内看板設置	花壇及び案内板の設置	大津市					4.2	
C-3	公園	一般	大津市	直接	大津市	茶臼山公園案内板設置	公園案内板等の設置	大津市					1.7	
C-4	公園	一般	大津市	直接	大津市	茶臼山公園地盤調査	法面地盤調査	大津市					0.4	
C-5	公園	一般	大津市	直接	大津市	皇子が丘公園基本計画及び基本設計	交通公園跡地利用基本計画及び基本設計	大津市					2.0	
合計												8.3		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-2	緑化重点地区総合整備事業(A-4)の要素公園に合わせ、隣接する花壇の整備、及び案内看板を設置し、公園の利用を促進する	
C-3	防災公園の整備(A-5)に合わせ、案内板等を設置し、利用者の利便性を向上させる	
C-4	防災公園(A-5)が土砂災害特別警戒区域に指定されたため、調査を実施し、防災公園としての安全性を確認する	
C-5	整備する公園(A-2)において一部廃止(面積:2ha)となった跡地の利用計画を策定する	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 公園の整備・拡大に努めた結果、当市事業により、大津市民一人当たり公園等の面積は9.0㎡から9.3㎡へと増加した。 茶臼山公園内に防災広場を整備し、災害時、避難対象人口8,880人が避難テントを設営し避難できるスペースを確保した。 (避難対象人口：人口が最大になると予想されている平成28年度の近接自治会の合計人口) 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（大津市内一人当たりの都市公園面積）	最終目標値	9.6㎡/人	目標値と実績値に差が出た要因	前提となる大戸川ダム建設事業の進捗遅れ、大規模開発事業計画の取りやめ、厳しい財政事情等により、整備に至らなかった箇所があった。また、市人口も平成21年度末から1.1%増加したことから、平成25年度末の一人あたり都市公園等面積は9.3㎡となった。 (当市事業による目標達成を確認するため、県営公園の面積は目標設定時に用いていた数値と同じ数値で計算している。)
		最終実績値	9.3㎡/人 (平成26年3月31日時点)		
	指標②（茶臼山公園の災害避難者の収容率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 当計画に基づき、近江神宮外苑公園、大戸川緑地等を整備し、琵琶湖と山、川等に親しむことのできる公園が開設された。散策やジョギング、釣り等多目的に利用されている。 茶臼山公園に防災広場を整備し災害被害者を全て収容できるスペースを確保したほか、かまどベンチなどを整備し避難場所としての対応能力を向上させることができた。 			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> 計画はしたものの予算制約等により計画期間中に整備に至らない箇所があった。今後も、当市緑の基本計画で目標としている一人あたりの公園等面積11㎡を目指し、積極的に公園整備に努める。 特に皇子が丘公園については効果促進事業で基本計画・基本設計策定を行い、基幹事業で実施設計及び本工事を行う予定であったが、効果促進事業は完了したが、基幹事業で計画していた実施設計及び本工事は未実施である。今後は当市で別に定めている整備計画「災害に強い安全で安心な公園づくり（防災・安全）」に吸収源対策公園緑地事業を追加する形で整備を継続していく。（皇子が丘公園は当市地域防災計画において広域避難場所かつ緊急輸送道路に関する連絡防災拠点に位置づけられている防災公園であり、同事業は避難場所や物流拠点としても利用できる多目的広場を整備する事業であることから、防災・安全交付金の目的に合致し、同交付金の吸収源対策公園緑地事業の要件を満たす。） 当初当計画に位置づけていた「都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業」及び「公園施設長寿命化計画策定調査」については、平成24年度に別に定めた整備計画「災害に強い安全で安心な公園づくり（防災・安全）」に位置づけを変更し、同計画に基づき事業を継続中である。 					

